| 令和2年度第1回<br>高松市高齢者保健福祉・介護保険制度運営協議会 | 資料2 |
|---|---|
| 令和2年6月25日 | |

# 高齢者の暮らしと介護についてのアンケート調査　結果報告書（概要版）

令和２年３月　高松市

## １　調査対象及び有効回収数（調査期間：令和元年 12 月２日～12 月 27 日）

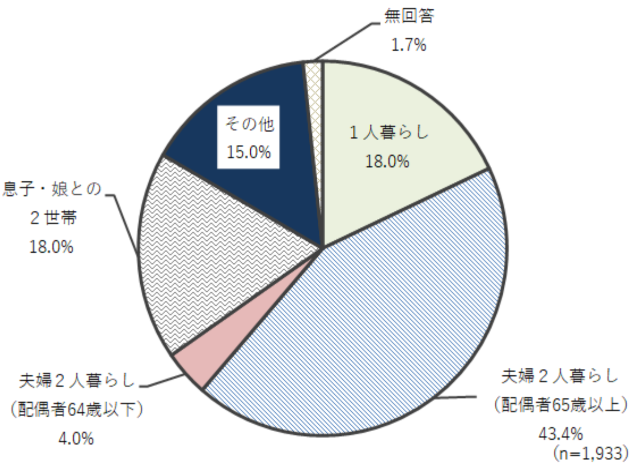
| 調査種別 | 調査対象者 | 標本数 | 有効回収数 | 有効回収率 |
|---|---|---|---|---|
| ①高齢者 | ６５歳以上の高齢者の方<br>（要介護１～５の認定者を除く） | 3,000 人 | 1,933 人 | 64.4% |
| ②要介護認定者 | ６５歳以上の高齢者のうち、<br>要介護１～５の認定者の方 | 2,800 人 | 1,375 人 | 49.1% |
| ③一般市民 | ４０歳以上６５歳未満の方 | 1,000 人 | 449 人 | 44.9% |
| 合計 | | 6,800 人 | 3,757 人 | 55.3% |

## ２　結果報告

### ●家族構成について　（①高齢者、②要介護認定者）

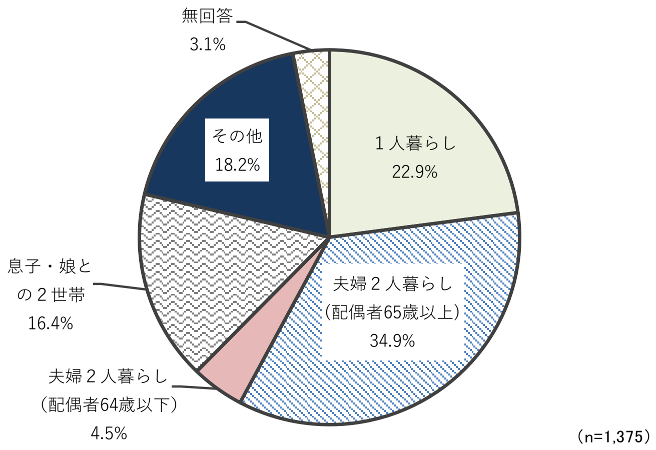
①高齢者（報告書Ｐ６）

「夫婦２人暮らし」が合わせて約４割以上、１人暮らしが約２割




②要介護認定者（報告書Ｐ１２６）

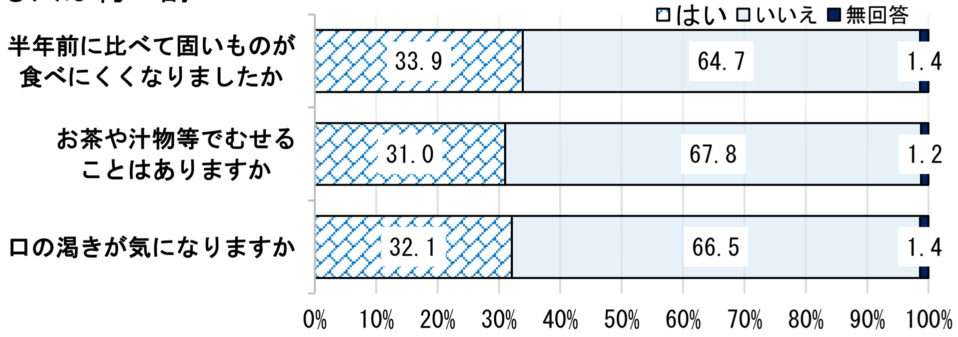
配偶者６５歳以上の夫婦２人暮らしが約３割以上、１人暮らしが約２割以上



## ●口腔機能について　（①高齢者、②要介護認定者）

### ①高齢者（報告書Ｐ２４～２８）

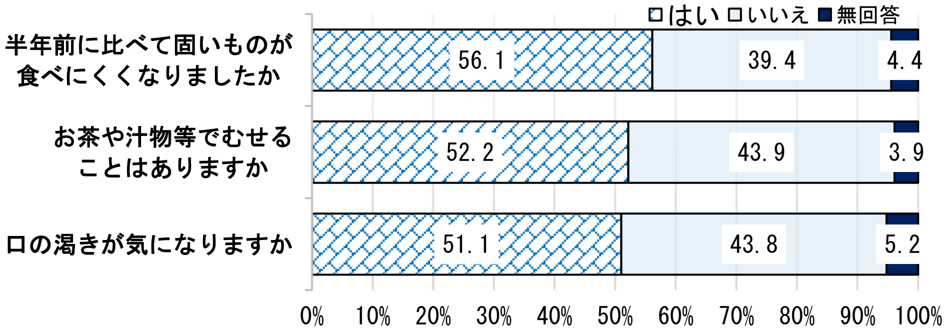
咀嚼機能の低下を感じている人は３割以上、嚥下機能の低下を感じている人、口の渇きを感じている人は約３割




（ｎ=1,933）

### ②要介護認定者（報告書Ｐ１４７）

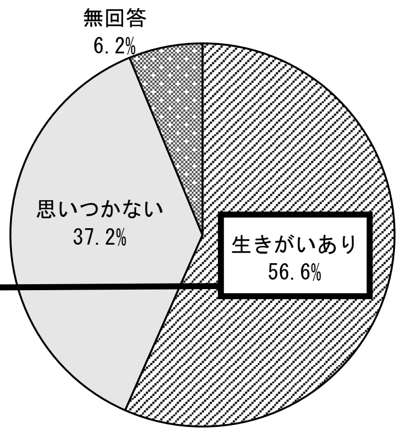
半数以上の人が口腔機能の低下を感じており、咀嚼機能の衰えを感じている人が多い




（ｎ=1,375）

## ●生きがいの有無と内容について　（①高齢者、②要介護認定者）

### ①高齢者（報告書Ｐ４３）



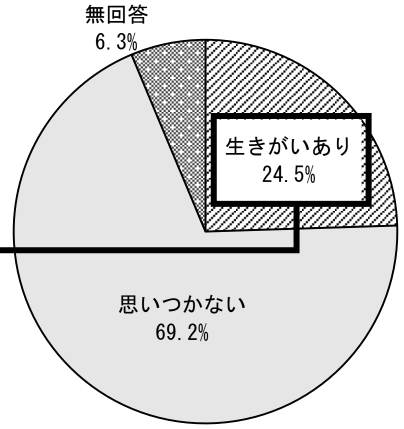

生きがいのある人は約半数を占める

>>生きがいの内容（上位３つ）

- 子や孫の成長、交流　(380/1,933)
- 趣味　(112/1,933)
- 仕事　( 67/1,933)

（ｎ=1,933）

### ②要介護認定者（報告書Ｐ１６４）




生きがいが思いつかないが約７割

>>生きがいの内容（上位３つ）

- 子や孫の成長、交流　(210/1,375)
- 趣味　( 39/1,375)
- 家族との生活や交流　( 14/1,375)

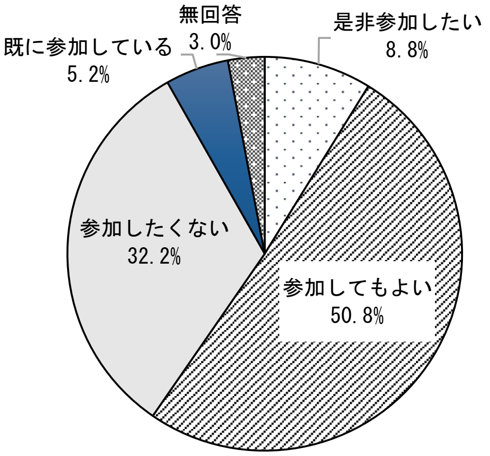
（ｎ=1,375）

## ●地域づくりへの参加意向について　　　　　　　　　（①高齢者、②要介護認定者）

①高齢者（報告書Ｐ４６）

「参加者として参加してもよい」と考えている人が過半数を占める

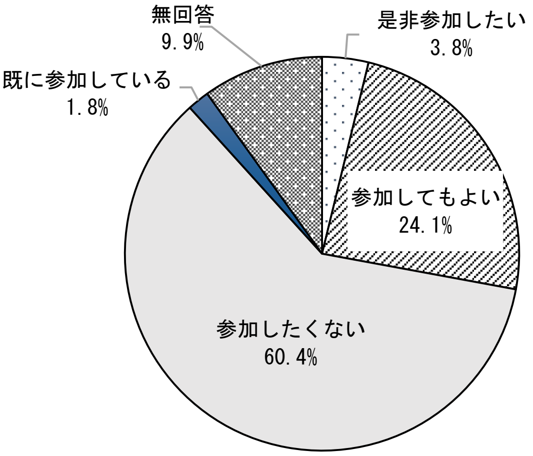
（ｎ=1,933）




②要介護認定者（報告書Ｐ１６６）

「参加したくない」が「参加者として参加してもよい」の割合を大きく上回っている

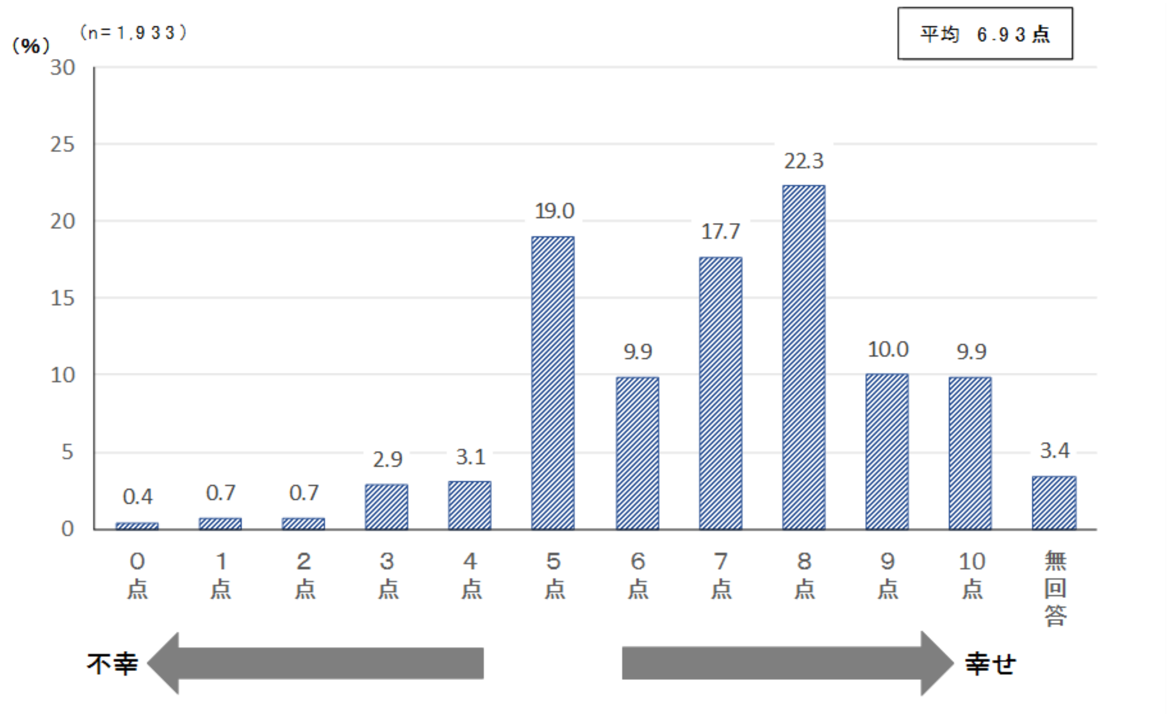
（ｎ=1,375）



## ●主観的幸福感について（１０点満点で評価）　（①高齢者、②要介護認定者）

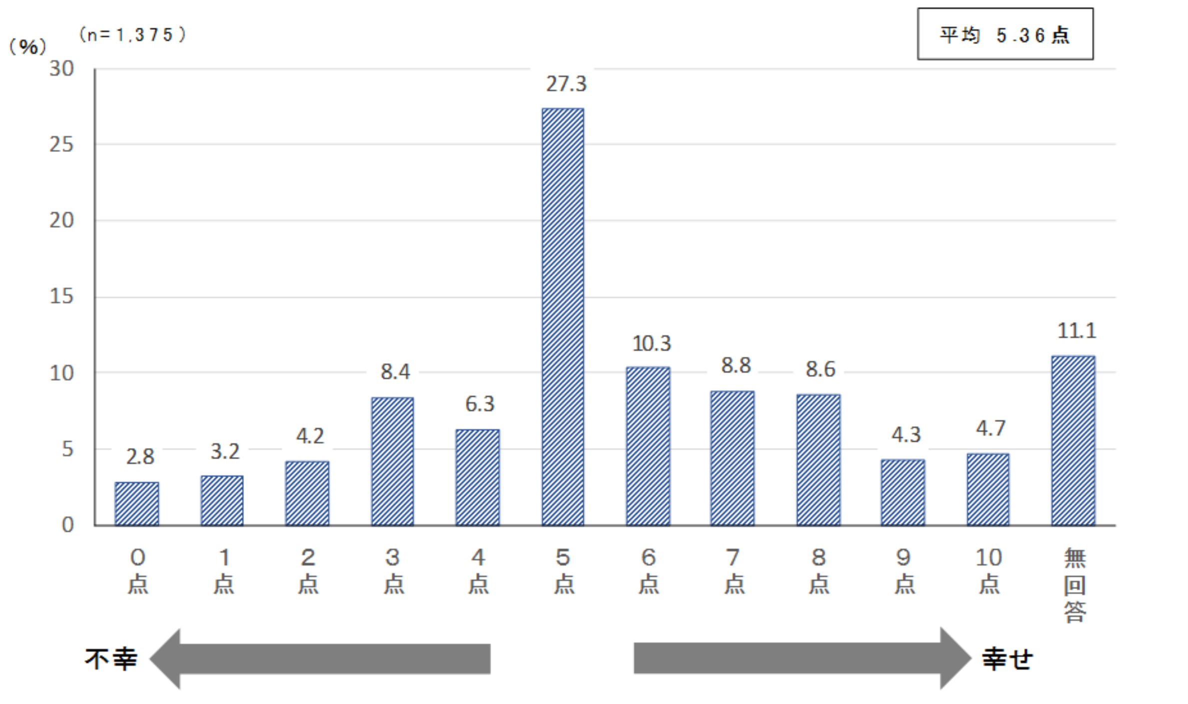
### ①高齢者（報告書Ｐ６０）

５点以上の評価をしている人が９割以上




### ②要介護認定者（報告書Ｐ１７６）

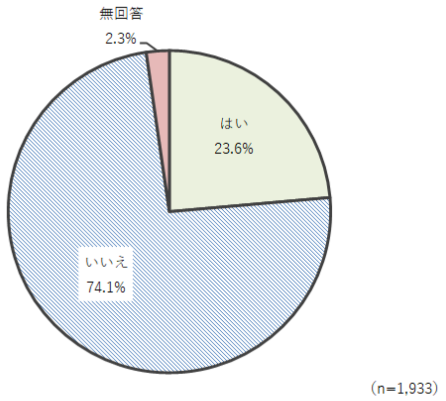
５点以上の評価をしている人が約７割



## ●認知症に関する相談窓口の認知度について　（①高齢者、②要介護認定者）

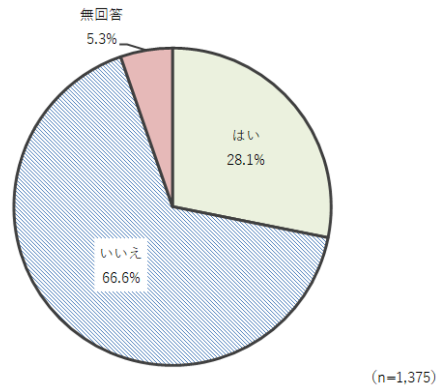
①高齢者（報告書Ｐ６４）

「相談窓口を知っていますか」との問いに「はい」と答えた人は約２割




②要介護認定者（報告書Ｐ１８０）

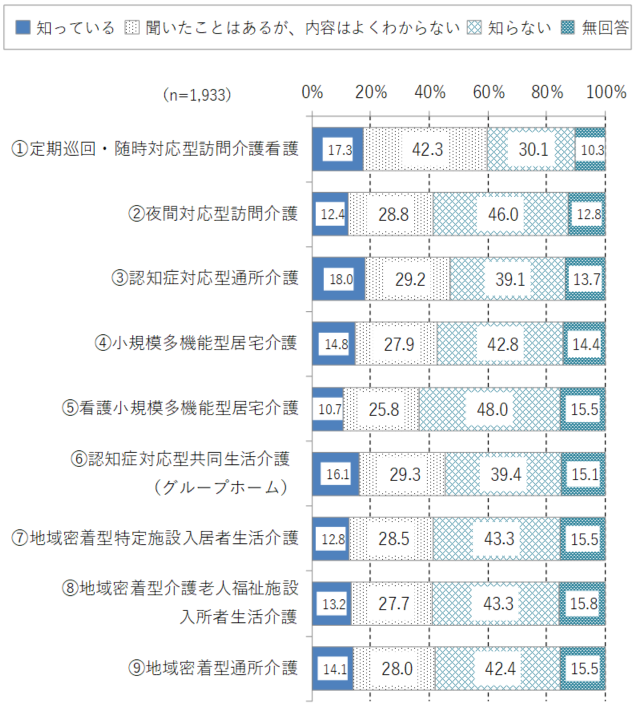
「相談窓口を知っていますか」との問いに「はい」と答えた人は約３割

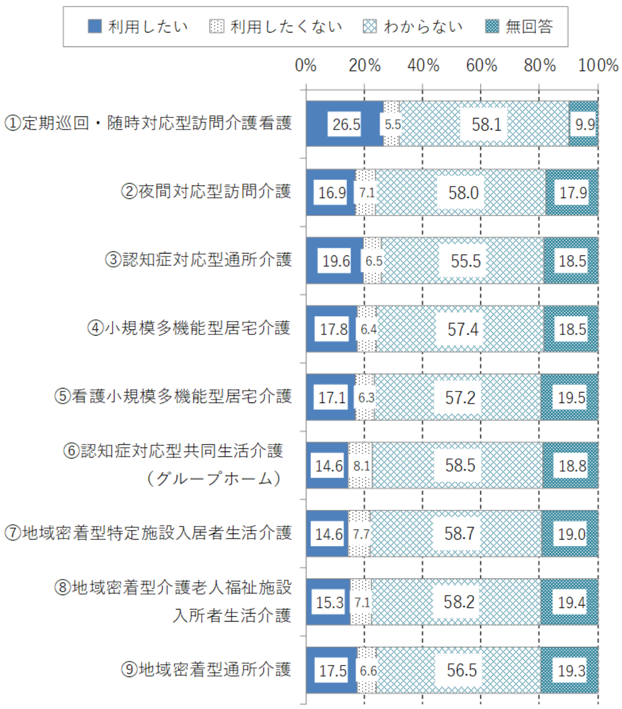


## ●地域密着型の介護保険サービスの認知度と、今後の利用意向について（①高齢者、③一般市民）

### ①高齢者（報告書Ｐ６７、６８）

**認知度については、認知症対応型通所介護が最も高く、利用意向については、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が最も多い**

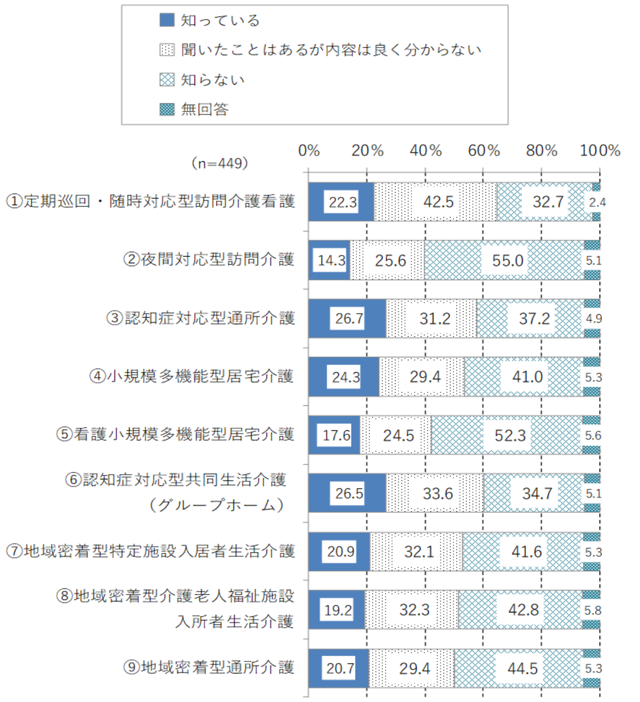


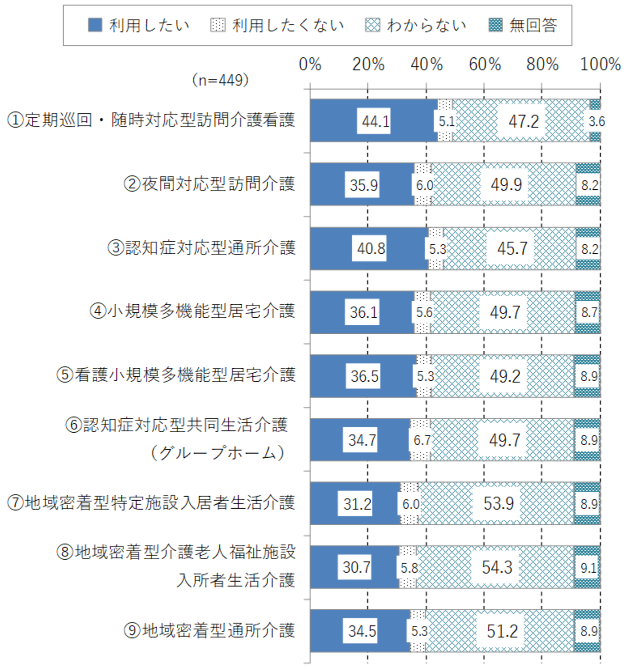




---

### ③一般市民（報告書Ｐ２１７、２１８）

**認知度については、認知症対応型通所介護が最も高く、利用意向については、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が最も多い**



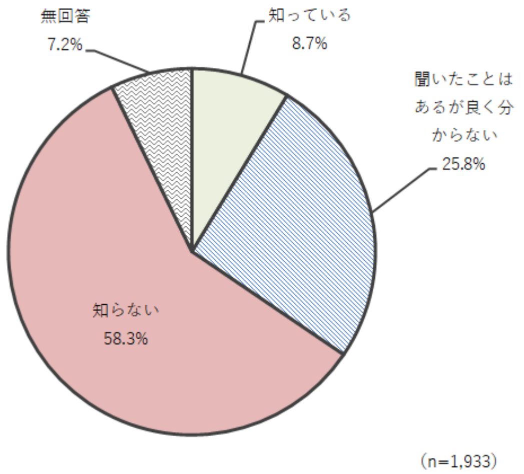



## ●介護認定を受けなくても利用できるサービスの認知度について（①高齢者、②要介護認定者、③一般市民）

問：介護認定を受けなくても、事業対象者の場合は、介護保険サービスの一部を利用できることを知っていますか。

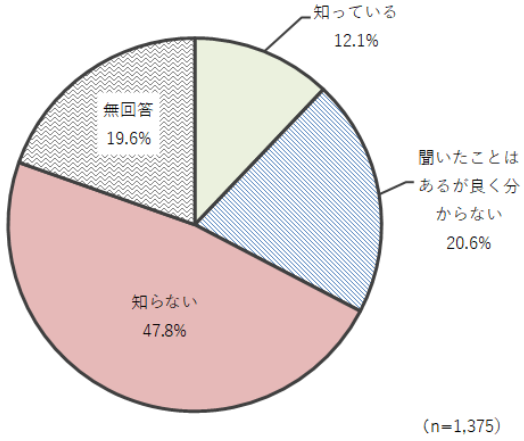
①高齢者　　　　（報告書Ｐ６９）

**「知らない」と回答した人が、最も多い**



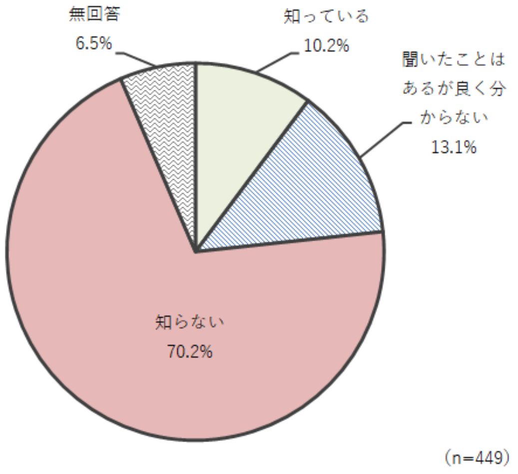

②要介護認定者（報告書Ｐ１３７）

**「知らない」と回答した人が、最も多い**




③一般市民　　　（報告書Ｐ２１９）

**「知らない」と回答した人が、最も多い**

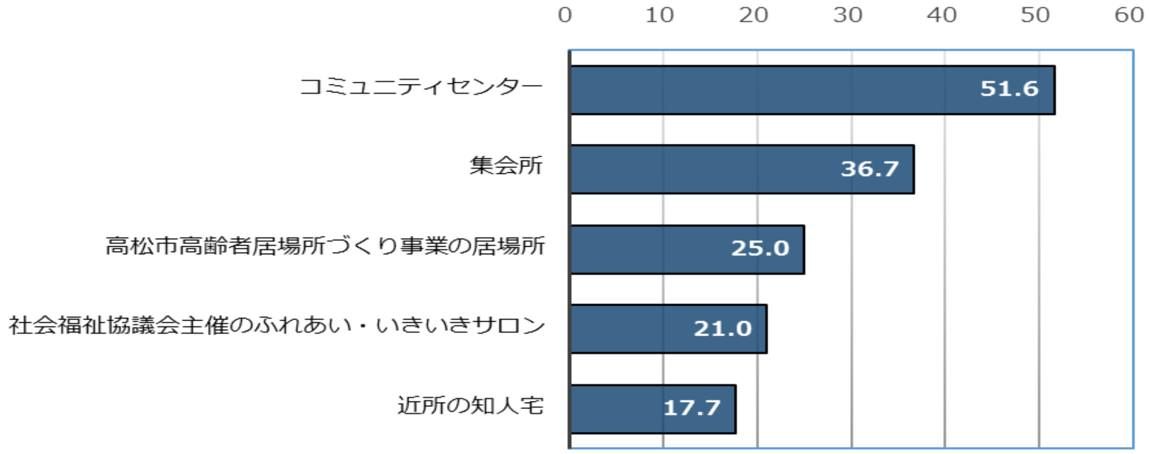


## ●高齢者が気軽に集える場所について　（①高齢者、②要介護認定者、③一般市民）

※高齢者が気軽に集える場所に「参加している」と回答した方
（③は「知っている」と回答した方）

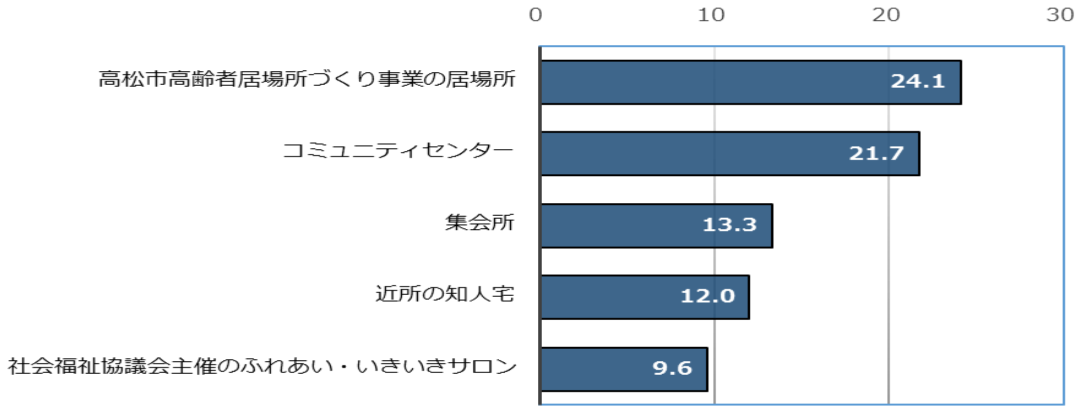
①高齢者（報告書Ｐ８１）（参加している＝１２.８％）　(n=248)

**コミュニティセンターや集会所など**
**>>高齢者が気軽に集える場所（上位５つ）**



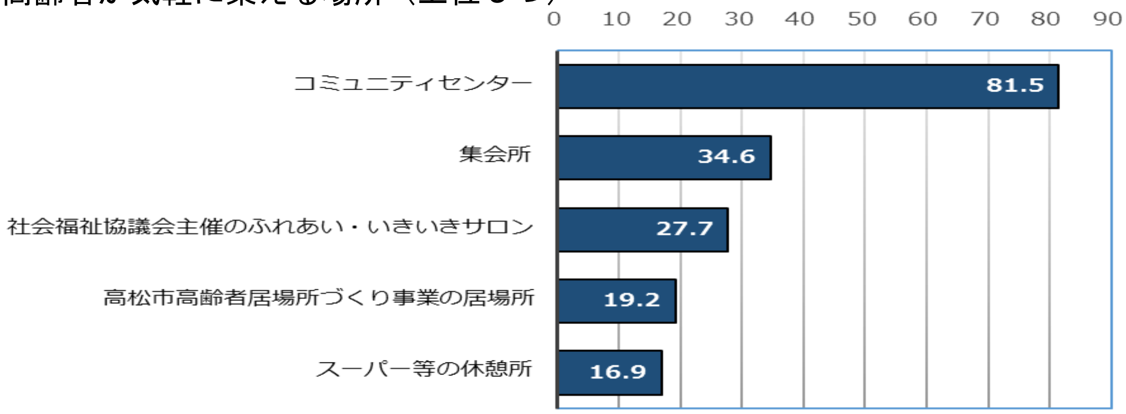

②要介護認定者（報告書Ｐ１８９）（参加している＝６.０％.）　(n=８３)

**コミュニティセンターや集会所など**
**>>高齢者が気軽に集える場所（上位５つ）**




③一般市民（報告書Ｐ２２９）（知っている＝２９.０％）　(n=1３0)

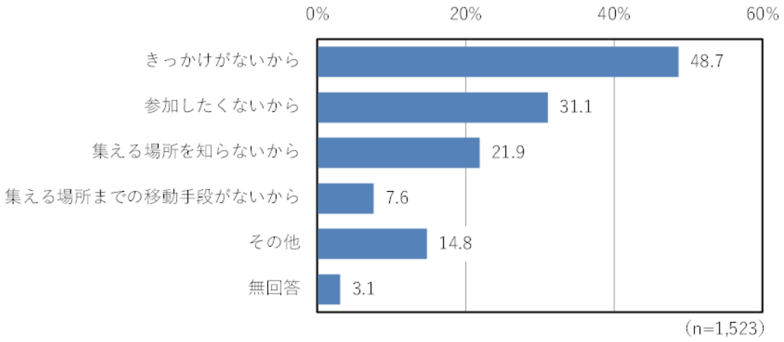
**コミュニティセンターや集会所など**
**>>高齢者が気軽に集える場所（上位５つ）**



## ●高齢者が集える場所に参加しない理由について　（①高齢者、②要介護認定者）

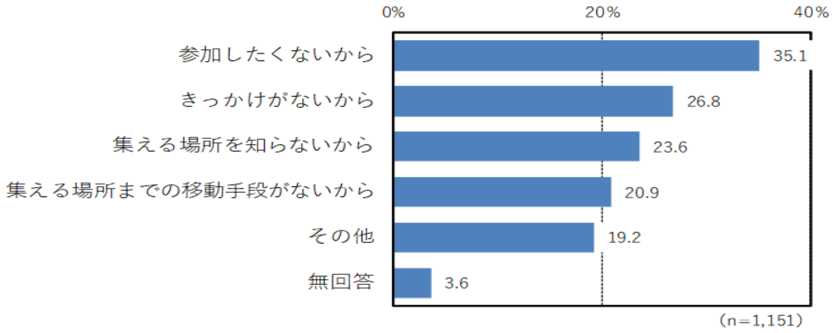
①　高齢者（報告書Ｐ８２）　（参加していない＝７８.８％）

約５割の人が、「きっかけがないから」と回答




②　要介護認定者（報告書Ｐ１８９）　（参加していない＝８３.７％）

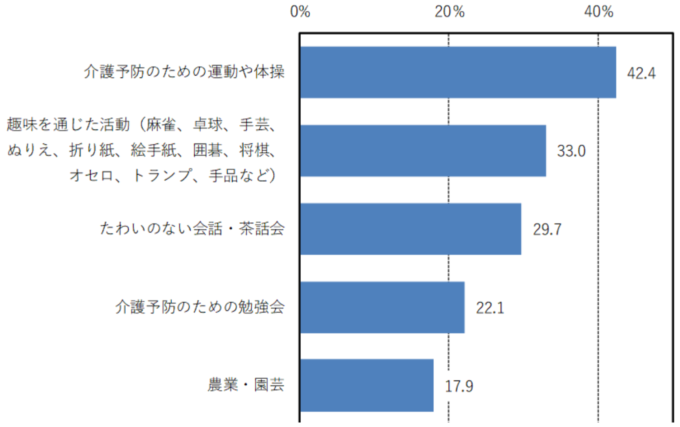
「参加したくないから」と回答した人が最も多い




## ●集える場所で行いたい活動について（上位５つ）　（①高齢者、②要介護認定者）

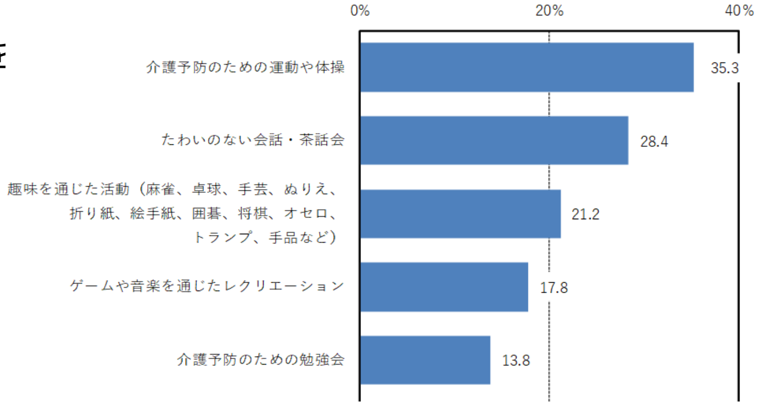
①高齢者（報告書Ｐ８４）

介護予防のための運動や体操を行いたい人が最も多い




②要介護認定者（報告書Ｐ１９０）

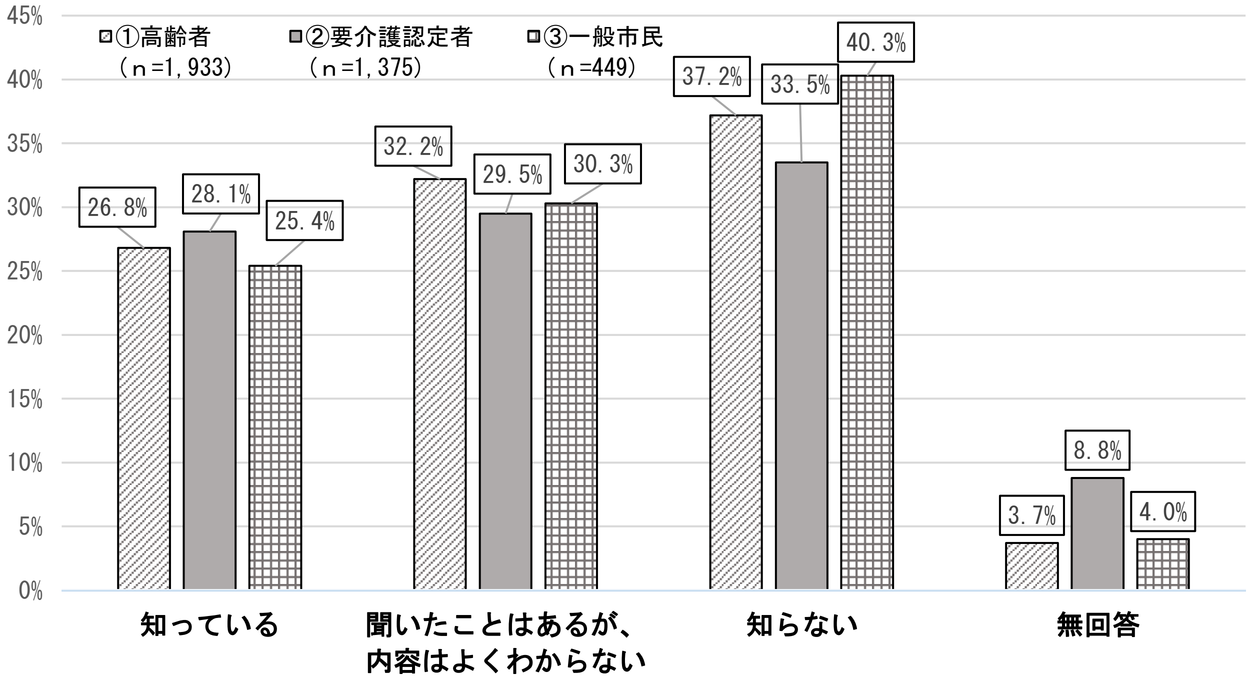
介護予防のための運動や体操を行いたい人が最も多い



●高松市地域包括支援センターの認知度について（①高齢者、②要介護認定者、③一般市民）

①高齢者（報告書Ｐ８７）②要介護認定者（報告書Ｐ１９１）③一般市民（報告書Ｐ２３０）

①～③すべての調査種別で、「知らない」と回答した人が最も多い

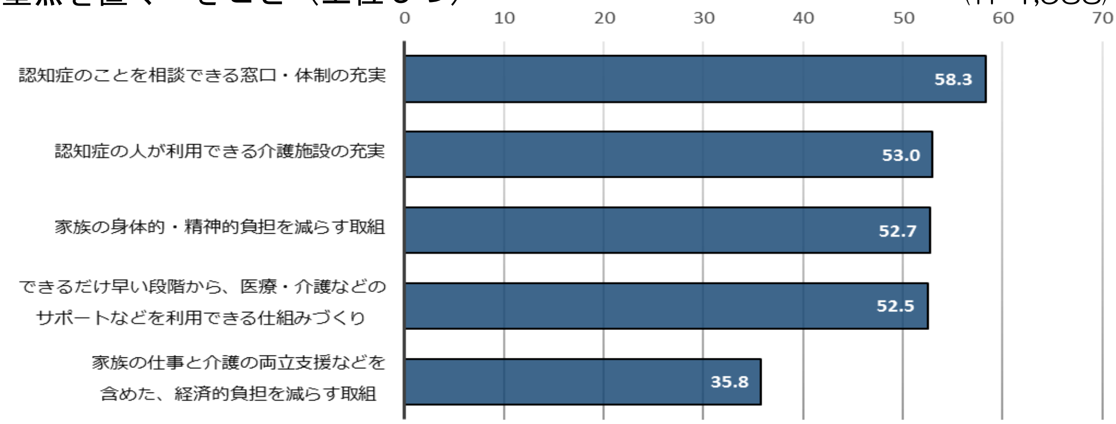


## ●認知症になっても安心して暮らせるために重点を置くべきこと（①高齢者、②要介護認定者、③一般市民）

### ①高齢者（報告書Ｐ９２）

**認知症に関する相談窓口や、介護施設の充実、医療・介護のサポートを早い段階から利用できる仕組みづくりなどへの要望が多い**

>>重点を置くべきこと（上位５つ）　（n=1,933）

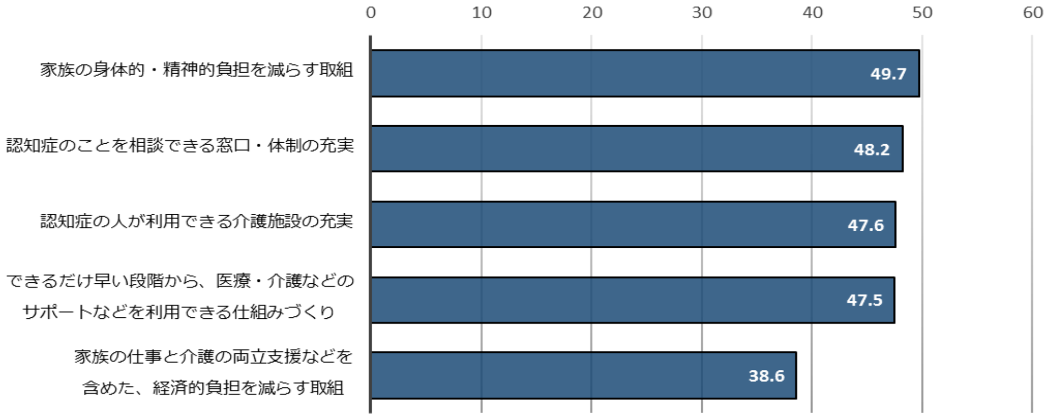



---

### ②要介護認定者（報告書Ｐ１８４）

**認知症の人が利用できる介護施設の充実、家族の負担を減らす取組、医療・介護のサポートを早い段階から利用できる仕組みづくりなどへの要望が多い**

>>重点を置くべきこと（上位５つ）　（n=1,375）

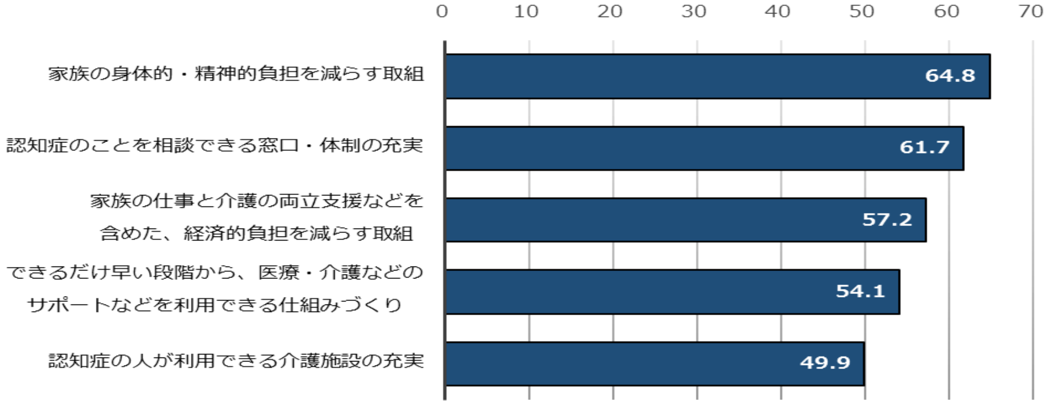



---

### ③一般市民（報告書Ｐ２３６）

**認知症に関する相談窓口や、家族の身体的・精神的・経済的負担を減らす取組や介護と仕事の両立支援への要望が多い**

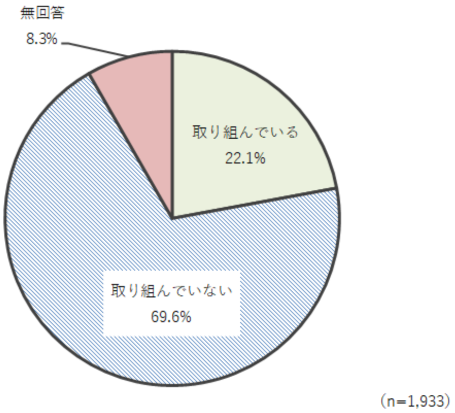
>>重点を置くべきこと（上位５つ）　（n=449）



## ●介護予防への取組の有無について　（①高齢者、③一般市民）

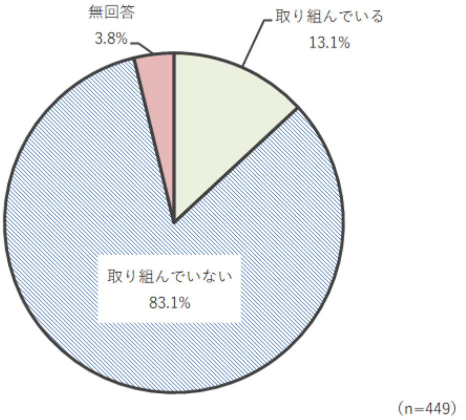
①高齢者（報告書Ｐ９９）

介護予防に取り組んでいる人は全体の約２割




③一般市民（報告書Ｐ２４２）

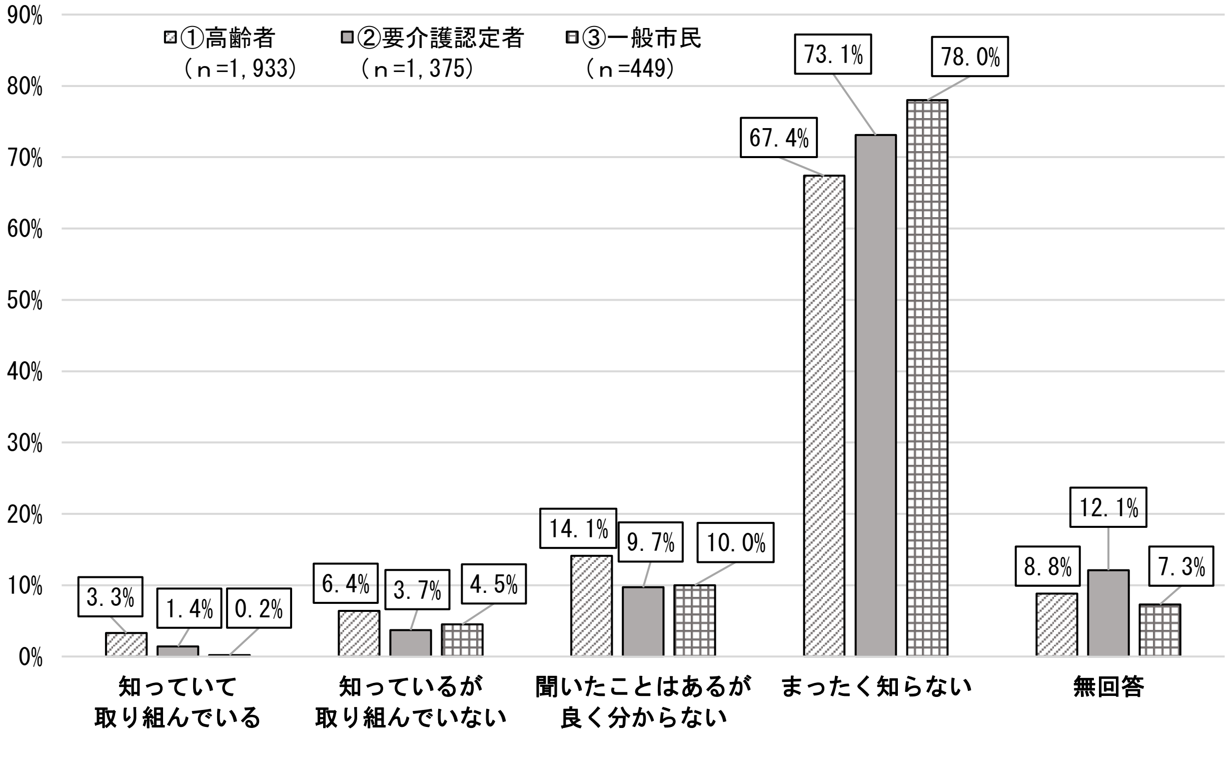
介護予防に取り組んでいる人は全体の約１割




## ●高松市の「のびのび元気体操」の認知度について（①高齢者、②要介護認定者、③一般市民）

①高齢者（報告書Ｐ１０７）②要介護認定者（報告書Ｐ１９３）③一般市民（報告書Ｐ２４９）

①～③すべての調査種別で、まったく知らないと回答した人が、最も多い



## ●自分の最期を迎えたい場所について　　（①高齢者、②要介護認定者、③一般市民）

問：自分の最後をどこで迎えたいと思いますか。

**①～③のすべての調査種別で、自宅で最期を迎えたいと回答した人が多い**

| | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①高齢者<br>（報告書P114） | 自宅<br>（56.1%） | 緩和ケア施設のある医療機関<br>（14.2%） | 今まで通ったことのある医療機関<br>（11.9%） | 介護保険施設<br>特養など<br>（7.1%） | （ｎ=1,933） |
| ②要介護認定者<br>（報告書P200） | 自宅<br>（54.5%） | 介護保険施設<br>特養など<br>（11.7%） | 今まで通ったことのある医療機関<br>（10.0%） | 緩和ケア施設のある医療機関<br>（9.0%） | （ｎ=1,375） |
| ③一般市民<br>（報告書P255） | 自宅<br>（41.2%） | 緩和ケア施設のある医療機関<br>（22.0%） | 今まで通ったことのある医療機関<br>（8.7%） | 介護保険施設<br>特養など<br>（5.8%） | （ｎ=449） |

※その他及び無回答を除く

## ●自分の最後の時について話し合った経験について（①高齢者、②要介護認定者、③一般市民）

問：自分の最後の時に希望する医療や介護について、家族や医療・介護関係者と話し合ったことはありますか。

**①～③すべての調査種別で、話し合ったことはない人が最も多い**

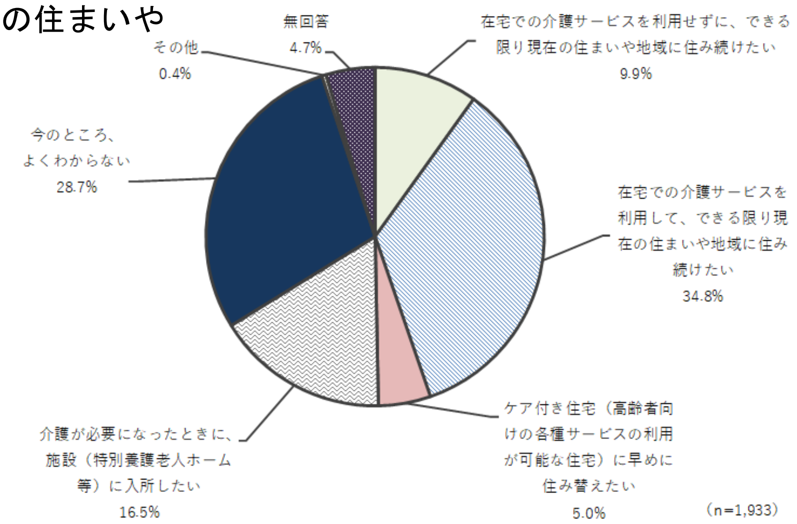
| | 1位 | 2位 | 3位 | |
|---|---|---|---|---|
| ①高齢者<br>（報告書P114） | 話し合ったことはない<br>（47.1%） | 話し合ったことはないが、話し合ってみたい<br>（25.1%） | 話し合ったことがある<br>（22.3%） | （ｎ=1,933） |
| ②要介護認定者<br>（報告書P200） | 話し合ったことはない<br>（50.5%） | 話し合ったことがある<br>（22.8%） | 話し合ったことはないが、話し合ってみたい<br>（18.9%） | （ｎ=1,375） |
| ③一般市民<br>（報告書P256） | 話し合ったことはない<br>（58.3%） | 話し合ったことはないが、話し合ってみたい<br>（19.2%） | 話し合ったことがある<br>（11.4%） | （ｎ=449） |

※無回答を除く

## ●将来の住まいと介護サービスの利用について（①高齢者、②要介護認定者、③一般市民）

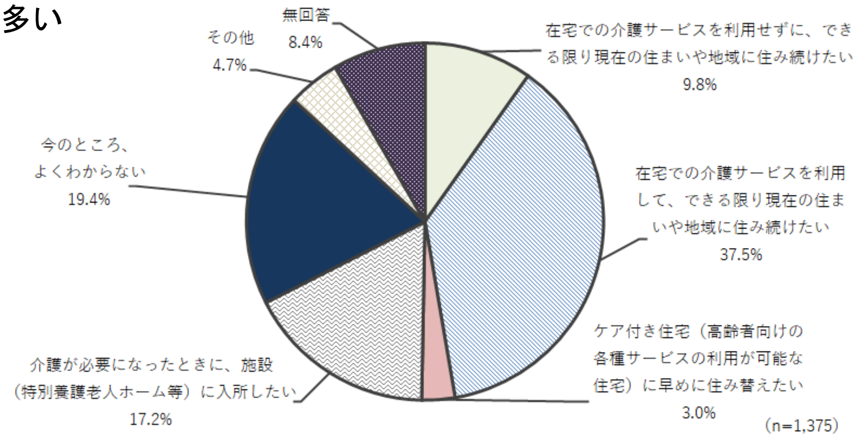
①高齢者　　　（報告書Ｐ１１６）

**将来は介護施設よりも現在の住まいや地域に住み続けたい人が多い**



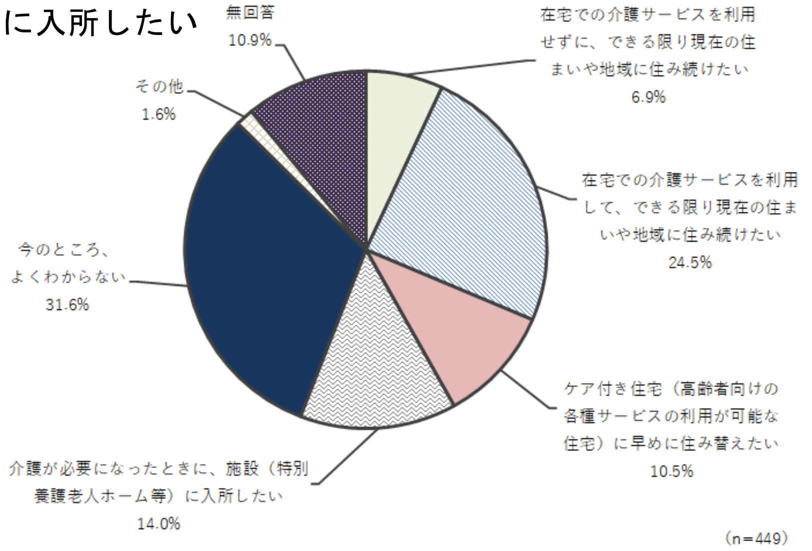

②要介護認定者（報告書Ｐ２０２）

**将来は介護施設よりも現在の住まいや地域に住み続けたい人が多い**




③一般市民　　（報告書Ｐ２５７）

**現在の住まいや地域に住み続ける、又は必要に応じて介護施設に入所したい人が多い**



## ●地域包括ケアシステムにおいて重要なことについて（①高齢者、②要介護認定者、③一般市民）

問：地域包括ケアシステムの構築の推進に当たり、特に重要だと思うことはどのようなことですか。（上位５つ）

①～③すべての調査種別で、「家族や親族の理解と協力」と回答した人が最も多い

| | １位 | ２位 | ３位 | ４位 | ５位 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①高齢者<br>（報告書Ｐ１２１） | 家族や親族の理解と協力<br>（65.1%） | 自宅近くの診療所やクリニックの充実<br>（57.0%） | 行政の支援<br>（45.1%） | 介護保険施設（特養など）の充実<br>（43.8%） | 自宅近くの介護支援事業所の充実<br>（37.2%） | （ｎ=1,933） |
| ②要介護認定者<br>（報告書Ｐ２０６） | 家族や親族の理解と協力<br>（54.0%） | 介護保険施設（特養など）の充実<br>（45.7%） | 自宅近くの診療所やクリニックの充実<br>（45.5%） | 自宅近くの介護支援事業所の充実<br>（42.2%） | 行政の支援<br>（32.1%） | （ｎ=1,375） |
| ③一般市民<br>（報告書Ｐ２６２） | 家族や親族の理解と協力<br>（66.6%） | 自宅近くの診療所やクリニックの充実<br>（57.7%） | 行政の支援<br>（53.0%） | 介護保険施設（特養など）の充実<br>（52.6%） | 自宅近くの介護支援事業所の充実<br>（46.8%） | （ｎ=449） |

## ●自由意見（抜粋）　（①高齢者、②要介護認定者、③一般市民）

### ①高齢者　（報告書Ｐ２６３～）

【介護保険サービス・在宅福祉サービスについて】

◆介護施設に入所がなかなか出来ないみたいなので、施設の充実をお願いしたいです。

（女性　７０～７４歳）

【介護予防について】

◆以前、介護保健施設で健康体操等の指導を受けましたが、予算のこともあると思いますが再開して欲しい。

（男性　７５～７９歳）

【不安なことや困りごとについて】

◆免許証の返納を勧められているので、毎日の生活が不安です。

（男性　８０～８４歳）

---

### ②要介護認定者（報告書Ｐ２６７～）

【介護保険制度について】

◆理解する前に次々と制度が変わり、本人及び家族も戸惑うばかり。手続きも多く字が書きづらい高齢者は都度に家族を呼んでしてもらう事に負担を感じている。理想論ばかりでなく、しっかり現実を見据えた制度にして欲しい。

（男性　８０～８４歳）

【不安なことや困りごとについて】

◆同居の家族がいるのですが、昼間１人の時があり、外出した場合に帰れなくなったり、目的の所へ行けなくなることが心配です。何か対策があるのでしょうか。不安です。

（女性　８０～８４歳）

【その他】

◆お世話になっています。老々介護まっしぐらですが、まだまだ大丈夫。頑張りたい。

（女性　７０～７４歳）

---

### ③一般市民　（報告書Ｐ２７１～）

【介護保健サービス・在宅福祉サービスについて】

◆なるべく自宅で介護して最後を看取れるように手助けしてもらえたらありがたいので、訪問看護が充実したらいいなと思います。

（女性　５０～５４歳）

◆近年、皆さんの価値観の多様性で逆に選択していくのが難しい。こまめに相談にのっていただける場所は絶対必要だと思います。

（女性　５５～５９歳）

【その他】

◆職場での理解と協力も必要だと思います。私は母の介護を３年していましたが（現在はホームに入所しています）、職場の理解が得られず退職せざるを得ませんでした。

（男性　５０～５４歳）